

在宅きたかみ

在宅医療介護連携支援だより

発刊：第21号
発行：令和4年
9月

★第1回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」を開催しました★

と き：令和4年6月29日(水)午後6時30分から8時まで
と ころ：北上済生会病院・大会議室からオンラインでの研修
受講者：68名(医療、介護、福祉、行政関係者)

今年度3回シリーズで実施する「テーマ型研修会」の第1回が、北上済生会病院の柴内一夫副院長を講師に迎え、「脳血管疾患」の特徴とチームケアについてオンライン研修で学びました。北上市は、脳血管疾患による死亡率が県内でも高い水準にあり、医療や介護の現場において対応する機会が多い疾患であることから、たくさんの受講申し込みがありました。

講義のあとにグループワークを行い、改めて「在宅チームアプローチ」のあり方と障がいをもつ人に対する「合理的配慮」とは何かを新たな視点で考える機会となりました。

(グループワークのお題)

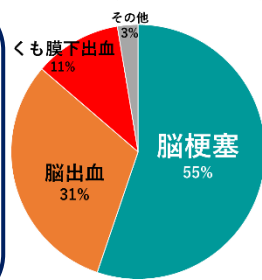
「Aさんは脳卒中で右マヒと失語症が残ったため退職した。」

50年後のBさんにとっては、ちょっと何を言っているのかわからないという文章です(きっと)



Bさんは脳卒中を患った方の生活期についてどのように考えているか想像して話し合ってみましょう・・・

脳卒中 死亡数 (全国 102978人 令和2年)



★「北上市在宅医療介護連携推進協議会」で令和4年度事業が承認されました★

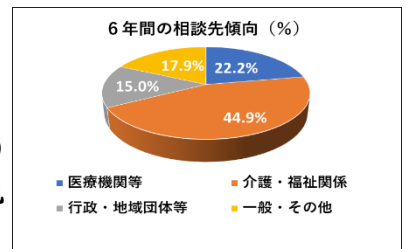
と き：令和4年7月13日(水)午後6時30分から8時まで
と ころ：北上済生会病院・大会議室
出席者：27名(北上医師会長 他)

今年度最初の北上市在宅医療介護連携推進協議会が岩淵崇北上医師会長をはじめ、医療・介護関係者の出席のもと開催されました。



初めに、令和3年度事業報告が、市長寿介護課から説明があり、その後、「在宅きたかみ」から「相談業務統計分析」として、平成28年度から令和3年度までの6年間の相談傾向について説明し、これからの支援体制のあり方について提言を行いました。

協議題としては、令和4年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画(案)が提示され、委員から意見をお聞きしました。



令和4年度は、第8期北上市介護保険事業計画の2年目であり、「在宅チームケア体制確立・充実期」として、2025年(令和7年)目標の地域包括ケアシステム構築の仕上げの段階に入ってきております。重点事業として、認知症施策、在宅医療、意思決定支援の3つの項目を掲げ、それぞれ具体的な事業を進めます。

関係資料は、在宅きたかみホームページに掲載しておりますので、そちらから御確認してください。

★第5回「きたかみ ACP セミナー(初級コース)」がオンラインで開催されました★

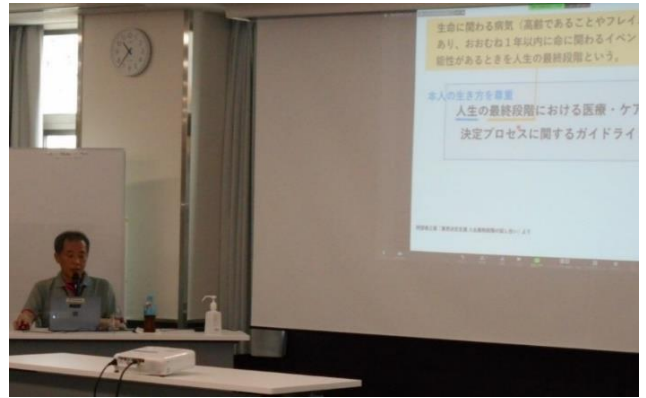
と き:令和4年7月23日(土)午前10時から12時まで
 ところ:北上済生会病院大会議室からのオンライン研修
 受講者:30名(看護師、ケアマネ、薬剤師等の多職種)

令和3年2月以来となる、第5回「きたかみACPセミナー」が開催されました。今年度は、初級コースと中級コースに分けて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の第7波拡大により、午後からの中級コース(集合型研修)は中止(延期)としました。

初級コースでは、まず、ACP(人生会議)の概念と定義と題して、ホームケアクリニックえんの千葉恭一院長が講義しました。ACPの目標は、「最後の医療・ケアの意思確認をすることではなく、将来の生活や治療について、患者さんと家族が安心して暮らせるように支援していくことである」とまとめております。

次に、北上済生会病院の柴内一夫副院長から、厚生労働省が示した「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」について、STEP1からSTEP5までのフローをわかりやすく講義していただきました。

最後に、県立中部病院の星野彰副院長から、ACP実践編として、現場での具体的な対応について、ユニークな表現で講義があったほか、北上市が取り組んでいる「わたしのきぼうノート」について作成の経緯も含めて紹介していただきました。



講義②「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」講師：柴内一夫氏(北上済生会病院)



講義③「ACP 実践編」「幸せに歳を重ねるために人生の心づもりしませんか？」講師：星野彰氏(県立中部病院)



質疑応答進行：高橋美保氏(ホームケアクリニックえん)



講義①「ACP の概念と定義」
 講師：千葉恭一氏(ホームケアクリニックえん)

★今年度最初の「入退院支援作業部会」が開催されました★

去る7月13日、関係機関・団体の専門職員等が出席し、第1回「入退院支援作業部会」を開催しました。部長には、北上地区ケアマネジャー連絡協議会の高橋恒信氏が引き続き互選されました。その後、令和4年度の活動方針が承認され、年3回開催することとし、具体的には、「入退院支援のハンドブック/2019年度版」の一部を改訂することについて、年度内完成を目指して、協議していくこととなりました。

また、入退院支援におけるルールづくりについては、関係者から意見をいただきながら課題を抽出・整理して、部会の中で解決策を検討していくこととしました。

その他、部会の冒頭で、市長寿介護課から、要介護認定申請時の聞き取り方法の改正点について説明がありました。



★「北上市地域リハビリテーション事業説明会」がリハ職向けに開催されました★

北上市長寿介護課職員による「地域リハビリテーション事業説明会」が、7月20日に北上済生会病院で開催されました。当日は、北上済生会病院リハビリテーション科の専門職30名程が参加し、活発な質疑応答もあり、有意義な説明会となりました。

北上市では、地域包括支援センターと協力して、今年度から高齢者のフレイル予防に本格的に取り組めます。

～地域リハビリテーションとは？～

障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め、生活に関わるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてを言う。

(出展：岩手地域リハビリテーション連携指針・改訂版)



(熱心に説明を聞く病院スタッフ)



(市長寿介護課スタッフとリハ科職員)

令和4年度 北上市介護予防・日常生活支援総合事業 令和4年4月版

要支援・事業対象者認定者向け

訪問と通所の3か月間

短期集中予防サービス

～こんな方にオススメ！～

- 筋力をつけ、生活しやすい身体づくりに取り組みたい
- 杖などをうまく使って、歩きやすくなりたい
- 気力を回復し、趣味活動や生きがいをもって暮らしたい



何歳でも筋力や気力は回復する可能性があります！
歳のせいとあきらめず、3か月間取り組んでみませんか？

3か月間専門職が関わって、一人ひとりに合わせた支援を行います。



筋力や気力が低下し、動きにくくなってきた人も・・・



リハ専門職が訪問し個別に助言
通って運動



いきいき、楽しみがある毎日！
短期集中で支援を受けて・・・

サービスを希望する人は、担当のケアマネジャーか、お住まいの地域包括支援センターへご相談ください。

各地域包括支援センター名称	担当地域	電話番号
地域包括支援センターいいとよ	黒沢尻北・飯豊	62-4100
地域包括支援センター北上中央	相去・鬼柳	72-6178
地域包括支援センター展勝地	二子・更木・黒岩・立花・口内・二子・稲瀬	61-0225
地域包括支援センター本通り	黒沢尻東・黒沢尻西	72-7254
地域包括支援センターわっこ	江釣子・和賀	77-5055

★図書館とのコラボ企画「心づもり」展示コーナーを開設しました



「いくつになっても長寿を喜びあえるまち」を目指している北上市で、8月からの1か月間、市立中央図書館とのコラボレーションにより、「心づもり」展示コーナーを開設しました。その間、たくさんの市民が本を手に取り、エッセイを中心に多くの本が借りられたとのことでした。自分や家族の人生について考える有意義なきっかけづくりとなったのでは・・・。

そのコーナーでは、「心づもり」事業でお世話になっている4人の医師の皆さんから「おすすめ本」も紹介していただきましたので、機会があったら読んでみてはいかがでしょうか？

また、平成30年12月に完成し、普及啓発活動を続けている「わたしのきぼうノート」もあわせて展示し、自分らしく幸せに歳を重ねるための「心づもり」のきっかけになるものとして紹介しました。機会があったら、また企画してみたいと思います。

☆☆☆医師のおすすめ本☆☆☆

星野彰先生 (県立中部病院)

「わすれられない おくりもの」 スーザン・バーレイ 作

「いつでも会える」 菊田 まりこ 作

柴内一夫先生 (北上済生会病院)

「脳を診る 命に出会う」 安芸 都司雄 作

「死すべき定め-死にゆく人に何ができるか」 アトゥール・ガワンデ 作

千葉恭一先生 (ホームケアクリニックえん)

「光に向かって100の花束」 高森 顕徹 作

小池裕之先生 (日高見中央クリニック)

「ライオンのおやつ」 小川 糸 作

お世話いただいた中央図書館 高橋香織さん
市担当の長寿介護課 木野涉さん



★認定看護師さんによる介護事業所向け出前研修★

岩手県看護協会北上支部に所属する認定看護師さんによる出前研修事業を立ち上げました。入所系の介護事業所(特別養護老人ホーム等)に出向き、看護・介護職員の資質向上と現場における医療的ケアの課題等について、いっしょに話し合う機会をつくること目的としております。

9月下旬から募集をスタートしますので、御注文をお待ちしております。関係事業所には案内を送るほか、「在宅きたかみ」ホームページでお知らせします。



＜出前メニュー＞		
番号	研修分野	主な研修内容
1	感染管理	・標準予防策、各種感染症対応策 ・防護服の着脱方法等 ・感染症のゾーニング
2	皮膚・排泄ケア	・スキンケアと保湿管理 ・排泄管理、洗浄方法等 ・褥瘡予防、皮膚トラブルの対処
3	摂食・嚥下障害看護	・食事介助の基本、口腔マッサージ等 ・摂食、嚥下障害の特徴 ・誤嚥性肺炎の予防と対策
4	認知症看護	・家族介護者への理解と支援方法 ・不穏時、BPSDへの対応 ・清拭、食事、排泄のケア
5	緩和ケア	・意思決定支援 ・看取りケアで感じたこと、大切なこと ・在宅緩和ケアの実際
6	救急看護	・急変時の初期観察とアセスメント ・一時救命処置と方法 ・意識障害、意識消失時の観察と対応

★「つむぎつなぐ保健室」が始まりました★

多機能型事業所ito(いと)さんとホームケアクリニックえんさんの協働により、「暮らしの保健室」きたかみ版として、「つむぎつなぐ保健室」が市内若宮町に開設されました。毎週木曜日の午前10時から午後5時まで開いておりますので立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

詳しくは、右に掲載しているチラシを御覧ください。「在宅きたかみ」のホームページにも掲載しております。



医療や暮らしに関する悩みはありませんか？

「暮らしの保健室」きたかみ版

つむぎつなぐ保健室

とき 毎週1回(木) 10時~17時
ところ 多機能型事業所 ito (いと)
料金 無料
北上市若宮町 2-7-1 Tel/0197-72-8191
※開催日は変更となることがあります

この保健室の機能は多機能型事業所 ito とホームケアクリニックえんが協働で行っています。

誰に聞けばいいかわからない 困りことはありませんか？
つむぎつなぐ保健室は、地域にお住まいの方々の暮らしや健康、医療、介護のご相談をお受けします。

- ◆地域のみならずからの健康に関する質問、生活にかかわるさまざまな相談に応じます。
- ◆地域の医療・介護状態を熟知した相談員(医療・福祉関係者)が当番で担当いたします。
- ◆在宅医療も理解した専門職が相談を受け、市の在宅医療介護連携支援センターと連携を図り病院、医院へのかかり方をお手伝いいたします。
- ◆がん患者さんとそのご家族の相談にのります。
- ◆地域包括支援センターとも連携し、地域のみならずを支援する窓口となります。
- ◆地域の方々に、介護、福祉の情報を提供いたします。
- ◆お医者さんからのご相談にも適切に対応できる窓口を目指します。

◆◆ Topics 6月~8月 ◆◆

- 6月11日(土) リレー・フォー・ライフ・ジャパンきたかみ 2022 リレーイベントに協力しました
- 6月29日(水) 令和4年度第1回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」を開催しました
- 7月8日(金) 「北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会」を開催しました
- 7月13日(水) 令和4年度第1回「入退院支援作業部会」を開催しました
- 7月13日(水) 令和4年度第1回「北上市在宅医療介護連携推進協議会」に出席し事業報告を行いました
- 7月20日(水) 「北上市地域リハビリテーション事業説明会」を北上済生会病院で開催しました
- 7月23日(土) 第5回「きたかみ ACP セミナー」を北上医師会との共催で開催しました
- 8月17日(水) 令和4年度「ケアマネ経験別座談会」に参加しました

研修等の告知

令和4年度「第2回医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」⇒⇒ (募集中・〆切9/26)
開催: 令和4年9月28日(水) 18:30~20:00
場所: オンラインによる研修です

「医療従事者対象・権利擁護研修会」新規

⇒⇒ (3病院に案内・募集中)
開催: 令和4年10月20日(木) 17:00~18:30
場所: 県立中部病院及びオンライン

編集後記

コロナ禍の終息が見えてきません。一方、この夏、全国各地ではお祭りが3年ぶりに開催されるなど、市民には笑顔が戻ってきたようです。引きこもりがちな私は、季節の旬な美味しいものを食べて、そして飲んで、この夏を乗り切りました。健康診断の結果が気になります。(H)

発行/北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目 15番 33号
北上済生会病院1階
TEL: 0197-65-6121 FAX: 0197-65-6122
HP: <http://www.zaitaku-kitakami.com/>

